

令和7年度第2回柏市保健衛生審議会母子保健部会会議録

1 開催日時

令和8年2月17日（火）午後3時00分～午後4時15分

2 開催場所

柏市中央保健センター1階アリーナ

3 出席者

(1) 委員

菊池委員，北川委員，佐藤委員，杉山委員，武田委員，南波委員，萩原委員，林委員，村上委員，吉田委員，渡邊委員

(2) 関係課等

(健康医療部) 鹿野専門監 (健康増進課代理出席)，荒巻保健予防課長

(福祉部) 後藤障害福祉課長

(こども部) 依田こども部長，小倉こども政策課長，渡会子育て支援課長，野戸こども相談センター所長，浦上副参事 (保育運営課代理出席)，成井専門監 (こども発達センター代理出席)，他1名

(教育委員会) 原学校教育部次長兼学校教育課長

(事務局) 星母子保健課長，林同副参事，坂本同専門監，藤田同専門監，磯村同副主幹，千葉同副主幹，三原同主査，池畑同主査，中沢同主査，長利同主事，黒川同主事，上條同主事

4 次第

(1) 開会

(2) 挨拶

(3) 委員及び事務局紹介

(4) 柏市母子保健計画の最終評価について

(5) 柏市母子保健事業に関する基本方針及び評価指標について

5 内容

(1) 開会

・会議成立

委員14人中11名の出席にて，会議の成立を報告。

(2) 挨拶

(3) 委員及び事務局紹介

6 意見交換・質疑

(1) 柏市母子保健計画の最終評価について

【資料3：令和7年度第1回母子保健部会報告（委員からのご意見まとめ）、資料4：柏市母子保健計画・最終評価（最終案）】に基づき、事務局から説明。

質疑応答

なし

（佐藤委員）ただいまの説明や内容に対して質問はあるか。皆様からの意見・質疑を踏まえて、かなり丁寧に修正をしていただいたかと思うが、いかがか。改めて見て分かりにくいところ等ないか。

（委員）意見なし。

（佐藤委員）それでは、柏市母子保健計画最終評価について、皆様の承認をいただくということでよいか。

（委員）承認。

(2) 柏市母子保健事業に関する基本方針及び評価指標について

【資料3：令和7年度第1回母子保健部会報告（委員からのご意見まとめ）、資料5：柏市母子保健事業に関する基本方針（最終案）、資料6：柏市母子保健計画に関する基本方針：次期評価指標（最終案）】に基づき、事務局から説明。

質疑応答

（吉田委員）資料6の2ページ目、「柏市母子保健事業に関する基本方針」の参考にする指標2の「地域子育て支援拠点事業及び赤ちゃんのつどい（旧：母と子のつどい）の利用者数」について、令和6年度の数値は延べ人数だと思うが、この14万人という数字が少し分かりにくい。

（事務局）ご指摘いただいたとおり、同じ方が毎月参加したり等重複しているため、「延べ」というような言葉を使う等して、分かりやすい表現に変更する。

（吉田委員）もう少し丁寧にするならば、期間のようなものを入れても分かりやすいのではと思う。「3月からの延べ人数」のようにしてはいかがか。

（子育て支援課）地域子育て支援拠点事業は子育て支援課で所管をしている事業である。こちらに関しては、未就学の親子の利用者数（年度内）の延べ人数を計上している。

（佐藤委員）吉田委員の質問の意図としては、どのぐらいの時期の人たちがどの程度利用しているのか、もう少し分かりやすい方がいいという意味合いで、期間を切るという提案であるか。

（吉田委員）赤ちゃんのつどいの利用者数を見た時に親子も含まれていると思ったが、地域子育て支援拠点事業に関してはどのような人数をカウントしてるのかが少し分かりにくいと感じた。

（佐藤委員）工夫できるということであれば修正をお願いしたいと思う。あとその質問に連動して、「地域子育て支援拠点事業」というのがどういうものなのか、1つの事業なのか、複数の事業なのかということも分かりにくいと思う。

(子育て支援課) 地域子育て支援拠点事業については、「はぐはぐひろば柏たなか」と「はぐはぐひろば沼南」、市内に7箇所ある児童センターのうちの4箇所。加えて、私立保育園等に併設している「地域子育て支援センター」において、親子同士の交流促進や子育て支援情報の提供、気軽な相談等、地域子育て支援拠点事業として行っている。現在、市内22か所で地域子育て支援拠点事業を実施しており、その親子の利用者数の延べ人数が、令和6年度は14万9,718人であった。

(佐藤委員) 実際にそれらの利用状況を評価していく時には、地域や場所によって、利用状況に差があるかと思うので、丁寧に場所別に見ていくということも必要かと拝聴していた。

(事務局) 地域子育て支援拠点事業について、資料5の基本方針の7ページ、施策展開の方向1「子育て・親育ちの環境づくりを進めます。」の【主な取り組み】のところに「地域子育て支援拠点事業(はぐはぐひろば、地域子育て支援センター、児童センターなど)」と記載させていただいている。吉田委員よりいただいた「誰が」「いつ」利用した数値かを丁寧に伝える方法を考えている。

(林委員) ネーミングはすごく大事で、そこに含まれる内容みたいなものがとても大事だと思っている。そこで、今まで「母と子のつどい」と呼んでいたものが「赤ちゃんのつどい」に変わったのはどうしてか、教えていただきたい。

(村上委員) 今まで「母と子のつどい」として市内20地域の近隣センターや町会の会館を利用して長年やってきたが、最近お父さんの参加も増えていることもあって、「母と子」という名称ではお父さんが行きにくい印象を与えてしまっているのではないかと感じていた。そこで来年度から「赤ちゃんのつどい」という形に名称を変えて、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、どなたでも一緒に来ていただけるような形にしていきたいと思い名称の変更に至った。

(菊池委員) 資料5,6について、丁寧にまとめていただいたなと思う。そんな中で先ほどもあったネーミングのところであるが、施策展開の方向2が「情報提供・相談体制の充実」という名称になっていて、資料6の1枚目を見ると、「健康行動」を指標としたものが多いかと思う。「情報提供」とか「相談体制の充実」というと、「環境整備」のようなイメージをどうしても持ちやすいが、基本方針の全体に書いてあるとおり、「ヘルスリテラシーを高める取り組み」を考えた時に、違ったネーミングができるのではないのかと感じた。すごく大きな変更なので、可能かどうかは分からない。これまでの10年間の取り組みの中で、市民の「学びの促進」をずっと掲げてきたと思うので、「環境整備」というよりは、ヘルスリテラシーを高めるための取り組みだということが分かるようなネーミングの方がいいのではないかと思う。

(事務局) 「情報提供・相談体制の充実」というネーミングに関しては、令和10年から包含を予定している「子ども・子育て支援事業計画」の柱立てに合わせて、評価指標を当てはめたという背景がある。ただ、ヘルスリテラシーという視点は、全ての指標においても同様に言えることだと思うので、その視点で評価していきたいと考えている。

(菊池委員) カテゴリーとして固定されているのであれば仕方ない。

(佐藤委員) この施策の立て方が支援者側からの表現になっているので、菊池委員がそのように捉えたのではないかと思うが、何のための情報提供なのかというところを考えて、ヘルスリテラシーの向上に向けた視点を市民に理解いただけるような工夫ができると良い。

(佐藤委員) 出していただいた意見をまとめると、参考にする指標2の「地域子育て支援拠点事業及び赤ちゃんのつどい(旧:母と子のつどい)の利用者数」の表現方法を検討していただくということ。それから、施策展開の方向2の「情報提供・相談体制の充実」に、ヘルスリテラシーを高めるための取り組みを、基本方針全体の中で意識できるように、記載できるかどうかというところである。

(子育て支援課) 資料5の7ページの施策展開の方向1に、「まち全体で子ども同士が育ち合い、保護者も共に支え合う仲間」や「親になるための学び合いができる場」、「親子でほっとひと息つける場の充実」など、地域子育て支援拠点事業の説明がされていることをつけ加えたい。あとはその拠点の数や利用者数をどのように表記するかは、事務局と相談させていただければと思う。

(事務局) 菊池委員から提案のあった内容については、資料5の基本方針の8ページの施策方向の展開2「情報提供・相談体制の充実」の説明の中で、そういった伝え方ができないか考えさせていただければと思う。

(佐藤委員) 今の事務局の回答等も踏まえて、今回いただいているこの基本方針と評価指標を承認いただくということでよいか。

(委員) よい。

(佐藤委員) 柏市母子保健計画最終評価、柏市母子保健事業に関する基本方針及び評価指標について承認をいただいたので、事務局の方で今後の作業を進めていただくようお願いする。

7 傍聴者

0人